

文化政策課の基本的な方向

<目的>

文化芸術の振興に関する施策の総合的な推進を図り、心豊かで潤いのある県民生活及び個性豊かで活力ある社会の実現を進める。

創造

より質の高い文化芸術を創造し、誇りを持てる地域とする。

○質の高い文化芸術活動の推進（頂点の伸長）

より質の高い文化芸術活動に県民が取り組むことができるよう支援する。

<施策例> とりアート「メイン事業」

鳥取県美術展覧会（県展）の開催

文化芸術活動支援補助金

○外部からの創造活動への刺激

新しい文化、質の高い文化の創造には外部からの刺激が重要であることから、県外からのアーティストの招聘、国際的な文化交流を推進する。

<施策例> 工芸アート村等アートによる地域振興

国際文化交流事業

芸術に触れる機会の拡大

県民一人ひとりが、感性豊かで感動あふれる生活を堪能できるよう県民の文化活動を支援するとともに鑑賞機会を提供する（裾野の拡大）

<施策例> とりアート事業

県文化団体連合会活動支援

芸術文化に親しみやすい環境整備事業

（公財）県文化振興財団による鑑賞事業

人材育成

質の高い文化を創造するためには人材の育成を欠くことができない。また、子どもの頃から文化芸術に親しむことが成人してからの文化芸術活動への参加、鑑賞に重要な役割を果たすことから、人材育成に取り組むとともに、子どもたちへの鑑賞機会を提供する。

<施策例> とりアート（人材育成事業）

とっとりアートスタート推進事業

ジュニア県展の開催

芸術鑑賞教室開催補助金

伝統的な芸能の継承

地域の伝統芸能の継承と歴史に埋もれた文化芸術の再発見を支援し、鳥取アイデンティティの確立と保持を推進する。

<施策例> とっとり伝統芸能まつり開催事業

ととりの文化芸術探訪事業

魅力ある展示支援事業

文化施設の充実

公立文化施設は単なる貸し館ではなく、文化芸術を発表し文化を発信する場、文化芸術を創造する場、文化芸術を支える人材の集積する場として、運営されなければならない。この観点から、今後、経済性の追求に走ることなく、適切な管理・運営に取り組む。

<施設> とりぎん文化会館、倉吉未来中心、米子コンベンションセンター等